



2024年1月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年12月14日

上場会社名 Japan Eyewear Holdings株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5889 URL <https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼管理部長 (氏名) 柴田 俊一 TEL 03 (6411) 0919
 四半期報告書提出予定日 2023年12月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第3四半期の連結業績 (2023年2月1日～2023年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第3四半期	9,689	27.8	2,680	85.0	2,365	161.5	1,546	346.0	1,400	720.6	1,595	305.3
2023年1月期第3四半期	7,580	—	1,448	—	904	—	346	—	170	—	393	—

	EBITDA※		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年1月期第3四半期	3,769	51.2	73.96	73.23
2023年1月期第3四半期	2,493	—	14.87	14.73

※EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年1月期第3四半期	32,160	10,677	10,677	33.2
2023年1月期	31,170	9,081	4,676	15.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年1月期	—	0.00	—	—	—
2024年1月期 (予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年1月期の連結業績予想 (2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		EBITDA		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,090	22.1	3,541	59.1	3,110	138.3	2,042	245.3	1,897	547.8	5,016	38.3	94.17

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 2. 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益を算定しております。

(注) 3. 基本的1株当たり当期利益は、公募株式数(1,400,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期3Q	22,544,260株	2023年1月期	11,480,020株
② 期末自己株式数	2024年1月期3Q	一株	2023年1月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期3Q	18,937,237株	2023年1月期3Q	11,480,020株

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、国際会計基準を適用しております。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (3) 2023年12月14日に当社ウェブサイト (<https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>) に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8
(1株当たり利益)	9
(後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフトマンシップにより自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造し、ブランドの世界観を表現した独自の店舗を中心に販売しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少し、さらには2023年5月に「新型コロナウイルス感染症（いわゆる2類相当）」が「5類感染症」へ移行したことにより、新型コロナウイルス感染症による影響は収束しつつあり、個人消費は回復基調にあります。また、2022年10月から日本への入国における制限が緩和され、1日あたりの新規入国者数の上限が撤廃されたことなどから、インバウンド需要が拡大しております。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による地政学上のリスクや円安などの影響による原材料・物流費・光熱費等の高騰など、先行き不透明な状況も続いております。

このような状況下で当社グループは、「顧客数回復による売上増加」、「フレーム販売価格の見直し」、「国内外における新規出店の推進」を軸として事業展開を継続しており、当社グループの主要ブランドである金子眼鏡、フォーナインズともに国内外のお客様から高い支持をいただいております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益9,689百万円（前年同期比27.8%増）、営業利益2,680百万円（前年同期比85.0%増）、税引前四半期利益2,365百万円（前年同期比161.5%増）、四半期利益1,546百万円（前年同期比346.0%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりであります。

〔金子眼鏡〕

金子眼鏡グループでは、国内個人消費の回復やインバウンド需要の拡大により、店舗販売が堅調に推移しています。インバウンド顧客向け店舗販売は2022年10月以降急速に回復しコロナウイルス感染拡大前を超える水準となりました。また、当第3四半期連結累計期間において新規出店計6店舗（国内5店舗、海外1店舗）を実施した結果、店舗数は81店舗（国内78店舗、海外3店舗）となりました。なお、2023年4月、中国・上海において中国1号店となる武康庭376店をオープンしました。

以上の結果、金子眼鏡事業の売上収益は6,188百万円（前年同期比30.7%増）、セグメント利益は2,086百万円（前年同期比68.1%増）となりました。

〔フォーナインズ〕

フォーナインズグループでは2023年1月に販売価格を改定したことに加えて、直営店における国内顧客の回復及びインバウンド顧客の増加と相俟って、店舗販売は順調に推移しています。また、当第3四半期連結累計期間において国内新規出店1店舗を実施し、店舗数は13店舗（国内12店舗、海外1店舗）となりました。卸売事業についても、2023年4月に実施した新型商品展示会において国内、海外ともに前期を上回る受注額を獲得しております。さらには、コスト改善にも継続的に取り組んでおり、人件費、広告宣伝費をはじめとした費用支出の見直しを行い、環境変化に対応しやすい経営体質への転換を図っております。

以上の結果、フォーナインズ事業の売上収益は3,501百万円（前年同期比23.0%増）、セグメント利益は922百万円（前年同期比119.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ989百万円増加し、32,160百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が317百万円増加、有形固定資産が444百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ605百万円減少し、21,483百万円となりました。これは主に、借入金（非流動）431百万円、未払法人所得税が343百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ1,595百万円増加し、10,677百万円となりました。これは主に、四半期利益1,546百万円を計上したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月期の連結業績予想につきましては、2023年11月16日に公表した数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,209	2,526
営業債権及びその他の債権	916	927
棚卸資産	1,313	1,416
その他の流動資産	145	182
流動資産合計	4,585	5,053
非流動資産		
有形固定資産	2,079	2,523
使用権資産	2,450	2,511
のれん	13,899	13,899
商標権	5,897	5,897
その他の無形資産	391	369
その他の金融資産	1,755	1,820
繰延税金資産	100	62
その他の非流動資産	11	23
非流動資産合計	26,585	27,107
資産合計	31,170	32,160
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	371	506
1年内返済予定の長期借入金	950	950
リース負債	1,043	1,055
未払法人所得税	759	416
契約負債	305	276
その他の流動負債	715	739
流動負債合計	4,144	3,944
非流動負債		
借入金	13,665	13,233
リース負債	1,450	1,503
引当金	33	34
繰延税金負債	2,296	2,267
その他の非流動負債	500	500
非流動負債合計	17,945	17,539
負債合計	22,089	21,483
資本		
資本金	10	10
資本剰余金	5,086	9,639
利益剰余金	△443	958
その他の資本の構成要素	23	68
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,676	10,677
非支配持分	4,404	—
資本合計	9,081	10,677
負債及び資本合計	31,170	32,160

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
売上収益	7,580	9,689
売上原価	1,803	2,191
売上総利益	5,777	7,497
販売費及び一般管理費	4,353	4,816
その他の収益	25	11
その他の費用	0	12
営業利益	1,448	2,680
金融収益	0	2
金融費用	544	317
税引前四半期利益	904	2,365
法人所得税費用	557	819
四半期利益	346	1,546
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	170	1,400
非支配持分	175	145
四半期利益	346	1,546
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.87	73.96
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	14.73	73.23

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
四半期利益	346	1,546
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	47	49
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	47	49
税引後その他の包括利益	47	49
四半期包括利益	393	1,595
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	194	1,447
非支配持分	199	148
四半期包括利益	393	1,595

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配 持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2022年2月1日残高	10	5,084	△731	6	4,369	4,070	8,439
四半期利益	—	—	170	—	170	175	346
その他の包括利益	—	—	—	24	24	23	47
四半期包括利益合計	—	—	170	24	194	199	393
新株予約権の発行	—	—	—	1	1	—	1
所有者との取引額等合計	—	—	—	1	1	—	1
2022年10月31日残高	10	5,084	△560	31	4,565	4,269	8,835

当第3四半期連結累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配 持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2023年2月1日残高	10	5,086	△443	23	4,676	4,404	9,081
四半期利益	—	—	1,400	—	1,400	145	1,546
その他の包括利益	—	—	—	46	46	3	49
四半期包括利益合計	—	—	1,400	46	1,447	148	1,595
新株予約権の失効	—	—	1	△1	—	—	—
企業結合による変動	—	4,553	—	—	4,553	△4,553	—
所有者との取引額等合計	—	4,553	1	△1	4,553	△4,553	—
2023年10月31日残高	10	9,639	958	68	10,677	—	10,677

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	904	2,365
減価償却費及び償却費	1,045	1,089
金融収益	△0	△2
金融費用	544	317
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18	△102
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	16	△10
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	115	△18
その他	26	2
小計	2,633	3,639
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△307	△274
助成金の受取額	6	—
法人所得税の支払額	△303	△1,152
法人所得税の還付額	13	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,042	2,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△238	△520
無形資産の取得による支出	△1	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△41	△77
敷金及び保証金の回収による収入	3	9
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277	△589
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△252	△475
リース負債の返済による支出	△869	△896
新株予約権の発行による収入	1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,120	△1,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	62
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	708	317
現金及び現金同等物の期首残高	2,199	2,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,907	2,526

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会（最高経営意思決定者）が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主に眼鏡製品を販売しており、2つのブランドカテゴリー（金子眼鏡、フォーナインズ）を中心に事業活動を展開しています。そのうえで、各ブランドの責任者が、ブランドごとに幅広い権限と、売上・利益への責任を持ち、機動的な意思決定を行っていることから、当社のセグメントはブランドを主として「金子眼鏡事業」「フォーナインズ事業」の2つを報告セグメントとしています。

「金子眼鏡事業」は、金子眼鏡ブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

「フォーナインズ事業」は、フォーナインズブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益であります。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2022年2月1日 至 2022年10月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	4,734	2,846	7,580	—	7,580
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	4,734	2,846	7,580	—	7,580
セグメント利益	1,240	419	1,660	△212	1,448
金融収益	—	—	—	—	0
金融費用	—	—	—	—	544
税引前四半期利益	—	—	—	—	904
その他の項目					
減価償却費及び償却費	744	283	1,027	17	1,045

(注) セグメント利益の調整額△212百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年10月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	6,188	3,501	9,689	—	9,689
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	6,188	3,501	9,689	—	9,689
セグメント利益	2,086	922	3,008	△328	2,680
金融収益	—	—	—	—	2
金融費用	—	—	—	—	317
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,365
その他の項目					
減価償却費及び償却費	784	287	1,071	17	1,089

（注） セグメント利益の調整額△328百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（1株当たり利益）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年2月1日 至 2022年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年2月1日 至 2023年10月31日）
親会社の所有者に帰属する四半期利益（百万円）	170	1,400
四半期利益調整額（百万円）	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益（百万円）	170	1,400
加重平均普通株式数（千株）	11,480	18,937
普通株式増加数		
新株予約権（千株）	110	189
希薄化後の加重平均普通株式数（千株）	11,590	19,126
基本的1株当たり四半期利益（円）	14.87	73.96
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	14.73	73.23

（注） 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は2023年11月16日に東京証券取引所スタンダード市場へ上場いたしました。この株式上場にあたり、2023年10月12日及び2023年10月30日開催の取締役会において、以下のとおり新株式の発行について決議し、2023年11月15日に払込が完了しました。

この結果、資本金は900百万円、発行済株式数は23,944,260株となっております。

募集株式の種類及び数	普通株式 1,400,000株
発行価格	1株につき1,360円
引受価額	1株につき1,271.60円
発行価格の総額	1,904百万円
引受価額の総額	1,780百万円
増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金の額 890百万円 増加した資本準備金の額 890百万円
払込期日	2023年11月15日
資金の用途	新社屋及び新工場の建設における資金